

## まちづくり意見発表会（意見要旨）

平成21年11月7日（土）13時30分～15時7分

高砂市役所 南庁舎 5階 大会議室

発表者 12人

参集者 計 80人

### ①河合 清司「高砂海洋スポーツ基地づくり及び高砂海の駅づくり」

- ・「眺める海」ではなく、「親しむ海」を知ってもらいたい。瀬戸内海の素晴らしい海に親しめるようにしてほしい。
- ・海浜公園、向島公園を海洋スポーツの基地、環境問題を考える拠点とする。
- ・みなとまちづくり構想には、人々が自由に利用できる港をつくるという考え方がない。
- ・堀川フィッシングセンター前に「高砂海の駅」を設置することを提案する。
- ・海の玄関である高砂駅の美化、環境整備を早急にしてほしい。
- ・これらのことを実施する際は、われわれに声をかけてほしい。利用者として提案したいことがある。

### ～参集者感想～

- ・向島公園のへドロの除去、幼児が安心して遊べるエリアづくりが必要。
- ・親水基地高砂を目指す。向島公園、あらい浜風公園、西港開発は親水性がない。
- ・ヨット教室に参加してみたい。
- ・大変有意義な発表であり、よいご意見と思いました。
- ・眺める海から親しめる海へは大賛成。ただ、何を中心、対象にするかがわからない。
- ・昔のように、泳げる海があればいいと思います。子どもにとっても、大人にとっても。

### ②原 陽一郎「高砂市のまちづくりプラン」

- ・誰もが安心して暮らせるまちづくりのためには、「人を大切にする」ことが大事である。
- ・「暮らしの安定」の実現は、まちづくりの基底をなすものである。
- ・文化発信の拠点づくり、機関誌発行、歴史美観地区をつくる、伝統産業の復興・育成、伝統産業体験の場づくり、観光宿泊施設の充実。
- ・日本一魅力のある高砂の「石」をアピールする。

- ・まちづくりに自然を意図的に取り入れてほしい。
- ・町の草木を決めて、町内に植え、みんなで育ててはどうか。
- ・「私の好きな風景」と題し、市内を題材にした写真、絵、俳句などの作品を募集し、展覧会を開催してはどうか。

～参集者感想～

- ・自然や文化との共生。まちづくりに一番大切なことは子孫に豊かさを残すことである。いまの高砂にそれが実現できるか。
- ・文化は大切と思うが、市だけではなく、民も交えた活動を望む。
- ・子孫に残したいものは同感でした。
- ・一点集中、具体的なプランが欲しかった。
- ・残すもの、開発するものをどうするか。多くの市民の意見を聞いてバランスよくまちづくりをすることが大切だと思いました。
- ・子孫に残すほんとうの豊かさとは何？石の文化は残っている。

③片岡 さわ子「教育～全国に先がけて「高砂モデル」の作成、実施～」

- ・子どもたちが、将来も住み続けたいと思うまちづくりが必要。
- ・教育に思い切りお金をかけてほしい。(少人数学級、教員に対する研修を充実、質のよい教師を増やす、勉強できる環境を整える。)
- ・学習面とともに、心のよい子に育てるよう、地域、学校が協力して教育してほしい。
- ・まったく新しい「高砂モデル」とも言うべき教育システムをつくり、20年後の30年後を見すえて種まきを始めてほしい。

～参集者感想～

- ・高砂市内の小中学校の荒廃に対して具体的にどのようなサポートをすべきか。緊急に対策を取るべきである。
- ・教育にお金をかける。少人数学級。教員の負担減を図る。将来のエリート輩出を目指す。
- ・勉強はしてほしい。東大、京大に行けたらいいな。
- ・私は生まれた土地に帰りたいと思う。子どもたちも同じだと思う。
- ・ご提案の「高砂モデル」をぜひとも実行してほしい。
- ・国の基準にこだわらない「高砂モデル」という点は共感できました。
- ・高砂はUターン率が高いのではないかと。有名大学進学はもう古いのではないかと。
- ・高砂から東大、京大にたくさん行くための教育。とても面白いなと思った。

#### ④前川 大「忘れてはいけないもの」

- ・宝殿駅のクスノキの枝の剪定を通じて、「ほんとうに大事なもの」とは何かを考え、そしてそれは私たちが忘れてはならないものであることに気が付いた。
- ・高砂市を緑のあふれた、地球温暖化防止に貢献できるようなまちにしたい。
- ・宝殿駅にあるような大きなクスノキを増やしたい。

#### ～参集者感想～

- ・将来を見すえたまちづくりを示唆したところは、当然取り入れるべき。
- ・緑はまだある。保存していくべき。
- ・若い中学生の方が地域のことを真剣に考えていることをとてもうれしく思う。
- ・以前よりこの大木は大変問題があるとは感じていました。特に鳥のフンは大問題でした。
- ・目の前の自分たちだけの問題を解決するためにしたことが、大きな問題を起こす原因になるのだということにあらためて気付かされました。
- ・地球温暖化防止策への要望、大賛成。中学生の願いをかなえるべき。
- ・私の子どもも毎日、あの大木と鳥の大群を見るのを楽しみにしています。ある日、急になくなって小さな子どもにどう説明していいのか困りました。

#### ⑤平野 多加代「精神保健福祉分野におけるボランティアの取組について」

- ・こころの病は誰でもかかる可能性のある病気である。当事者とその家族だけでなく、みんなのこととして地域で考えていくことが大切である。
- ・こころの病を理解してくれる職場や地域があればいい。

#### ～参集者感想～

- ・精神障害者、家族の方が悩みを聞いてもらえる場所が高砂市内に必要である。
- ・市内各種ボランティア活動がもっと活発になってほしい。
- ・精神保健ボランティアの現状をお話しいただいて参考になりました。
- ・ボランティア活動が活発におこなえる風土が大事だと感じました。
- ・障害、特に精神障害を一般市民に理解してもらうためにこういった活動を知ってもらえる機会をどれだけつくるかがとても大事だと思います。
- ・地域全体で考える。それで、市に何を要望しているのかが不明。

#### ⑥谷口 誠司「「笑い」高砂市を笑いのあるまちに」

- ・高砂市を「笑い」のまちにしたい。
- ・「笑いの日」をつくり、高砂市の陸上競技場で、漫才やコントの大会を開くことを提案する。

～参集者感想～

- ・ユニークな実現可能なよい意見である。
- ・「笑いの日」には参加したい。
- ・笑いは毎日あふれているにこしたことはないです。
- ・よい提案であると思います。
- ・「笑い」は年代に関係なく共通で楽しめるので、ぜひつくってほしいと思う
- ・ぜひ「笑いの日」をつくろうよ。

⑦山脇 千菜美「カリフォルニアと高砂」

- ・高砂市は、自然が豊かでコンパクトな住みやすいまちである。
- ・私の大好きな高砂の秋祭りを外国の方々にも見てもらいたい。
- ・アメリカではキリスト教会が地域のコミュニティの核となっていた。
- ・祭りは、町ごとの閉鎖的な地域活動といわれるが、もっとオープンにして、祭りを通じて地域外の方とも交流すればさらに活性化するのではないか。

～参集者感想～

- ・祭りを大切に存続してゆくこと。
- ・もう少しゆっくりしゃべったほうがよかったかな。
- ・外国を見て、自分のまちのよさを再確認できることは、とても大事なことです。
- ・地域コミュニティの活用法において、よい問題提起であった。
- ・コミュニティづくりと国際化が一緒にできたら面白いなと思いました。
- ・祭りを中心に活性化は大賛成。

⑧山口 智子「高砂市の介護福祉行政へ期待すること」

- ・適正な介護サービスの提供と利用とをみんなが意識する必要がある。
- ・高砂市は、祭りを通して地域のつながりが非常に強い地域である。行政は、この地域のつながりの強さの維持に力を注いでほしい。
- ・行政は、十分な介護を受けることのできない高齢者の権利擁護のために積極的に動いてほしい。
- ・地域包括支援センターの活動状況が見えない。限りある財源を有効に使うためにも、チェック体制を充分にはたらかせ、見直すべきは見直してほしい。
- ・不適切なプランをつくっているケアマネジャーや不適切なサービスを行っている事業所を厳しく指導してほしい。
- ・高齢者ができるだけ長く住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、行政には保険者としてもっと積極的にリーダーシップを発揮してほしい。

- ・介護福祉の充実、市民が生き生きと暮らせるまちづくりをしてほしい。

#### ～参集者感想～

- ・高齢化社会、みんなで支えていかないとだめですね。
- ・現場の貴重なご意見でした。
- ・地域コミュニティの活用法において、よい問題提起であった。
- ・行政のリーダーシップに期待したいと思います。
- ・提案が見られない。

#### ⑨竹原 薫風「よりよい高砂市を目指して」

- ・中学生が思いきり運動できる公園が欲しい。
- ・大きな図書館が欲しい。
- ・映画館やボーリング場などの娯楽施設が欲しい。
- ・よりよい高砂市をつくるためには、市民が協力して支え合うことが大切。
- ・高砂市がよりよい市となるためにも、市民一人一人が高砂市の将来についてじっくり考えることが必要。

#### ～参集者感想～

- ・いろんな施設を充実してほしいという意見は実現すべきである。
- ・市民の支え合い、ボランティア、市民が考えることが大切です。
- ・図書館の建設は大賛成です。
- ・中学生の視点で正直なご意見であったと思います。
- ・市民自身が考えるというのはとても大切な意見で、立派な意見だと思う。
- ・施設だけでなく、地域、市民との融合の重要性を指摘。……素晴らしい。
- ・高砂市は図書館や娯楽施設が少ないと思います。娯楽施設は加古川にあるので、図書館をもっと大きくすることは大切だと思います。

#### ⑩豊田 美也子「生涯学習について」

- ・家庭に埋もれている豊かな人材を広く社会で生かせるように市が率先して施策を実施してほしい。
- ・図書館を建設してほしい。また、そこに生涯学習センターを併設してほしい。
- ・生涯学習として、歴史観光ガイドが高砂市の歴史遺産を勉強する会等を発足させることを提案する。
- ・高齢者の引きこもりを避けるためにも、生涯学習として行われているクラブ活動への参加をはたらきかけてほしい。また、行政側でもどのぐらいの方がどういった会に参加しているかを一度検証してほしい。

- ・ 定年退職したあとも生きがいを持って暮らせるまちであってほしい。
- ・ 何歳になっても男女共に好奇心旺盛でいられるまちであるようにしてほしい。

～参集者感想～

- ・ 市民病院の充実を！図書館建設が急務！文化の発信源！
- ・ 生涯学習の充実（施設の充実）が必要。
- ・ 女性の社会参加、生涯学習、気軽に参加できればいいですね。
- ・ 文化の香りがするまちづくりの拠点の必要性を感じました。
- ・ 図書館はやはりぜひつくってほしいと思います。
- ・ 中央図書館を中心にして、生涯学習を続けることが実現できるといいなと思います。

⑪竹内 茂雄「子育て支援から見るまちづくり」

- ・ 子育て支援や子どもを取り巻く環境の充実は、まちづくりの根幹ともいえる。
- ・ まちの活性化には「人」が必要不可欠である。子どもを取り巻く環境の整備、生み育てやすいまちづくりをして、高砂市の人口増、他市からの流入を図る。
- ・ 人口減少、少子化という流れを市単位で食い止める。
- ・ 産み育てたいと思えるまちを目指し、官民の枠を超えた取り組みを増やし、子どもたちの体験の場、居場所づくりを進める。
- ・ 子どもたち自身が自分の将来に夢を持ち、高砂市に対して愛着と誇りを持つことのできる取り組みを行うことが重要だと考える。

～参集者感想～

- ・ 若い共稼ぎ家庭への支援を前面にPRを！シルバーを巻き込んだ学童保育。
- ・ 子どもと一緒にまちづくりも考えていきたいですね。
- ・ 保育所入所への待機がないのは大変ありがたいことです。
- ・ 子育て世代の人口増加策として意義があることがわかりました。
- ・ 市の活性化を図るためには、絶対、教育、子育てが大事だと思うので、とても共感できました。

⑫中村 衣月「地域活性化に向けて中核作り」

- ・ 全国的に有名になった「高砂にくてん」を観光と地域活性化の目玉にするために、高砂町商店街にくてん通りをつくることを提案する。
- ・ 高砂神社、十輪寺などの観光資源、駅前のショッピングセンターなどのある恵まれた土地柄を生かして高砂を活性化できないか。
- ・ ブライダル都市として非常にめでたいまちである高砂で、男女の出会いのサ

- ポートセンターを開設し、「縁結びのまち・高砂」を発信していくのも面白い。
- ・まちの活性化、まちづくりに大切なのは「人」である。
  - ・「つまづいてもくじけない精神」が素晴らしいまちづくりにつながっていくと考える。

#### ～参集者感想～

- ・市民の参加によるまちづくりも大切ですね。
- ・「にくてん」を中核とした活性化策は参考になりました。
- ・いまブームが来ているので、いまのこの現状はもったいない。ぜひすぐにも取り組んで、活性化につなげてほしい。
- ・提案の具体化を支援するのもおもしろい。市民活動推進課と商工会議所との連携。
- ・サンモールをもっと活性化させ、にくてんを売り出してはどうか。

#### その他感想

- ・まずは財政の健全化、徴税の効率化を実施し、より多くの資金確保のうえ、諸施策の実施を！
- ・意見交換という形式がよい。
- ・いろいろ考えさせられるよい発表がたくさんありました。
- ・有意義な発表会であったが、いずれも実施するにはお金が必要です。現在の財政状況ではとても実施できません。市長のリーダーシップにより、長期財政計画を立て、優先順位を決めて実施すべきだと思います。広域行政も考えるべき。